

計画事業番号	00128	事務事業名	高齢者総合相談支援事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	846
--------	-------	-------	-------------	------	-----------------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	介護保険法、北広島市介護予防事業実施要綱			
事務事業開始年度	平成9年		個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 5 節)	高齢者福祉・介護の充実
	(施策 4)	地域支援体制の推進
2 対象	65歳以上の市民とその家族や関係機関	
3 目的と内容	高齢者やその家族が安定した生活を送ることができるように、健康や生活、福祉、介護に関する相談を行う。	
4 実施内容 (手段)	27年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 窓口電話相談事業：訪問、来所、電話等による個別相談を高齢者支援センターと役割分担しながら実施している。 高齢者健康データバンク事業：高齢者の基本情報をシステム化し、相談支援に活用している。 高齢者実態調査：65歳到達者、75歳到達者、65歳以上転入者を対象（民生委員がサービスガイド配布に合わせて実施）
	28年度	<p>昨年度と同様であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口電話相談事業：訪問、来所、電話等による個別相談を高齢者支援センターと役割分担しながら実施する。 高齢者健康データバンク事業：高齢者の基本情報をシステム化し、相談支援に活用する。 高齢者実態調査：65歳到達者、75歳到達者、65歳以上転入者を対象（民生委員がサービスガイド配布に合わせて実施）

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談23,215人(内訳 市高齢者支援課 5,027件、高齢者支援センター 18,188件) 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施 1,860人 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 1,000部 相談業務にあたる技術のスキルアップ研修 21回	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施	窓口・電話相談の実施 総合相談窓口の周知のためのチラシ配布 相談業務にあたる技術のスキルアップ 高齢者の健康データバンクの構築 高齢者実態調査の実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			12,280	14,722	13,804	13,804
事業額	直接事業費	国支出金	4,788	5,741	5,384	5,384
		道支出金	2,395	2,871	2,692	2,692
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	2,632	2,904	2,692	2,692
		一般財源	2,465	3,206	3,036	3,036
		① 合計	12,280	14,722	13,804	13,804
	人件費	② 人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	900	900	900	900
		総事業費①+④	13,180	15,622	14,704	14,704

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①総合相談件数	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績値	23,215			
	②高齢者実態調査	目標値	1,900	2,000	2,100	2,200
		実績値	1,860			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
		【指標の定義(算式等)】				
	②	目標値				
		【指標の定義(算式等)】				
	③	目標値				
		【指標の定義(算式等)】				

【評価項目】

	チェック項目	評点	コメント
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ 上位の施策への貢献度は大きいですか？ 特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	窓口、電話相談では、個々の状況に応じて必要な職種が関わり、問題の解決に努めている。 問題の解決にあたり、高齢者の情報を把握し、高齢者支援センター等との情報共有を図るため、高齢者データベースは必要不可欠である。 また、高齢者実態調査では支援を必要としている人を早期に発見、介入することができるため有効である。
達成度	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	個々の相談内容の解決に努め、介護予防、家族支援、虐待防止などに成果が上がっている。 データバンクでの情報共有により、援助方法の統一が図られている。
成果向上	<ul style="list-style-type: none"> 成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	市と高齢者支援センターの間において、個々の身体状況や相談内容を共有し、連携を効率的に行いながら個別支援に対応している。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	個別の相談に対して、慎重かつ丁寧に対応しなければならぬケースが多く、経済性を追求するものではない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--

平成28年度 付 属 説 明 資 料

計画事業番号	128	事務事業名	高齢者総合相談支援事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	846
--------	-----	-------	-------------	------	--------------	----	-----

①小事業名	窓口電話相談		法律の義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間活力の活用性	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性有 <input type="checkbox"/> 可能性無	
対象	65歳以上の市民、およびその家族等	目的 & 内容	高齢者とその家族が安全・安心して地域で暮らすために必要な相談に市と高齢者支援センターが対応する。				
実施内容	H27	訪問、来所、電話等による個別相談。高齢者支援センターと役割分担をしながら実施。				直接 事業 費 (千 円)	H27年度 1,776千円
	H28	同上					H28年度 3,026千円
							H29年度 2,989千円
②小事業名	高齢者データバンク事業		法律の義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	民間活力の活用性	<input type="checkbox"/> 可能性有 <input checked="" type="checkbox"/> 可能性無	
対象	65歳以上の市民	目的 & 内容	高齢者の保健・福祉・医療の多様な相談に応じるため、個々の健康、生活状態に応じて適切で迅速な支援、サービスの調整をめざして、収集した情報を安全かつ効率よく整備し、管理する。				
実施内容	H27	①高齢者基本情報(住民基本情報、家族、介護者、健康状態、寝たきり区分、認知症区分、医療情報など) ②相談記録③統計帳票④実態把握票⑤介護予防ケアマネジメント関係⑥予防給付管理に関するデータを整備・管理する。 ・高齢者実態調査(65歳到達者、75歳到達者、65歳以上転入者)の実施。高齢者実態調査等データの入力。				直接 事業 費 (千 円)	H27年度 10,504千円
	H28	同上					H28年度 11,696千円
							H29年度 10,815千円
③小事業名			法律の義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間活力の活用性	<input type="checkbox"/> 可能性有 <input type="checkbox"/> 可能性無	
対象		目的 & 内容					
実施内容	H27					直接 事業 費 (千 円)	H27年度 千円
	H28						H28年度 千円
							H29年度 千円
④小事業名			法律の義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間活力の活用性	<input type="checkbox"/> 可能性有 <input type="checkbox"/> 可能性無	
対象		目的 & 内容					
実施内容	H27					直接 事業 費 (千 円)	H27年度 千円
	H28						H28年度 千円
							H29年度 千円